

## 2 教科部会（国語）

### 1 小学校国語

・対象としたテスト 下野市学力検査 （平成25年4月実施 4・5年生）

#### （1） 学力調査の結果

##### ① 国語の全体的傾向（観点別正答率）

###### 4年生

	正答率	関心・意欲	話す・聞く	書く	読む	言語
本市平均	68.1	69.6	77.8	60.0	62.0	70.4
全国平均	69.0	75.2	75.4	70.4	61.8	69.0
比較	-0.9	-5.6	+2.4	-10.4	+0.2	+1.4

###### 5年生

	正答率	関心・意欲	話す・聞く	書く	読む	言語
本市平均	74.8	71.9	63.0	75.1	79.4	73.1
全国平均	72.7	67.7	63.6	67.2	77.7	72.2
比較	+2.1	+4.2	-0.6	+7.9	+1.7	+0.9

##### <考察>

5年生は、全国平均を上回る正答率となった。4年生は、わずかに全国平均を下回ってしまった。観点別にみると、5年生は、「書くこと」は全国平均を上回っている。しかし、「話す・聞く」の観点においてわずかに全国平均を下回っている。4年生では、「書くこと」が大きく全国平均を下回ってしまった。また、「関心・意欲」も下回っている。

今後、「話す・聞く」「書く」を高める指導に力を入れ、国語の授業だけでなく、他教科でも意図的に表現する機会を多く持つことが必要と考えられる。また、児童の意欲を高めるような授業展開や活動を取り入れていくことも必要であろう。

#### （2） 設問別分析 改善策・対策

各学年において達成率の低かった問題、それらに対する改善策・対策は以下の通りである。

###### 4年生

観点別では「書く」がやや落ちているようにみられる。作文の問題で、与えられた条件を満たす文章が書けていない。抽象的なまま終わってしまったり、前の段落と関連づけて書けなかったりしていた。また、無答のままの割合も10.7%いた。設問別にみると、言語領域に誤答が多かった。漢字の読み書きとローマ字が十分に身に付いていないと考えられる。また、聞き取りの設問で選択問題は90%以上できているが、記述式問題では43.7%にとどまった。

### 設問7 書くこと 作文

- ・ 小学校生活も半分が終わりました。あなたは、1年生のときとくらべて、どんなところが成長したと思いますか。クラスの新聞に文章をのせるつもりで、次の点に注意して書きましょう。

〈注意する点〉

①二つの段落に分けて書きましょう。

(本市正答率：51.2% 全国正答率：55.9% 期待正答率：60.0%)

②一つめの段落には、あなたが成長したと思うことを書きましょう。

(本市正答率：85.3% 全国正答率：88.2% 期待正答率：80.0%)

③二つめの段落には、一つめの段落で書いた「成長したと思うこと」について、1年生のときとくらべてどれだけ成長したのかがわかるように書きましょう。

(本市正答率：47.1% 全国正答率：84.4% 期待正答率：75.0%)

④六行から八行の間(101字から160字の間)で書きましょう。

(本市正答率：67.4% 全国正答率：79.5% 期待正答率：75.0%)

#### <考察>

聞き取った内容を自分の言葉で表現する力がやや弱いため、正答率が下がったと思われる。この問いに答えるには、身近な学習の中で、条件を満たす文章を書くことに慣れておく必要がある。特に、読み手にわかりやすく、例を挙げて具体的に表現する力や、段落を構成する力を育てたい。

### 設問3-(3) 言葉の学習 (ローマ字を読むことができる。ローマ字を書くことができる。)

- ・ 次の①の言葉を、ひらがなに直して書きましょう。また、②の言葉を、ローマ字で書きましょう。

① h a g a k i

(本市正答率：47.9% 全国正答率：44.4% 期待正答率：50.0%)

② すみれ

(本市正答率：40.2% 全国正答率：41.0% 期待正答率：45.0%)

#### <考察>

ローマ字の読み書きについては、ローマ字表の母音と子音を正しく覚えさせ、ローマ字日記やパソコン入力などで意図的に使う場面を作り、日常化を図りたい。

## 5年生

どの領域もよくできていた。特に「国語への関心・意欲・態度」や「書くこと」、「読むこと」では全国平均と比べて高い正答率であった。設問別にみると、「話すこと・聞くこと」の発表の内容を聞き取る問題に誤答がみられた。

設問1-(3) 話すこと・聞くこと（話し手の意図を考えながら、話の内容を聞き、メモをとることができる。）

- ・ 今の放送について、次の問題に答えましょう。

(3) 次は発表を聞いていた人がとったメモの一部です。一線の部分は、どのようなことを表していますか。一文で説明しましょう。

### 食生活について

二はん・・・「朝ご飯」アンケート

- ・ 毎日食べる人・・・30人中27人 → 意外

(本市正答率：37.5% 全国正答率：50.5% 期待正答率：50.0%)

### <考察>

無回答は少なかったが、問題の意図をくみ取ることができず、求められているような記述ができなかった誤答が41.5%いた。また、メモにより略された内容を具体的に文章で表すことができず、メモの内容のまま文章にしていた誤答が25.9%いた。

今回の問題は、今まであまり触れていない問題の傾向であったため、児童は、問題の意図を十分くむことができなかつたと考えられる。また、話の内容は理解しようと聞いているが、メモの取り方が十分身についておらず、どこが大切な部分であるかを判別し、後で見てわかるようにメモに残すことに慣れていないと思われる。4年生の学習事項で、いろいろなメモの取り方を学ぶ活動がある。授業で学んだ後も、継続してメモをとる場面を設け、繰り返し練習させたい。

## 2 中学校国語

・対象としたテスト 下野市学力検査 (平成25年4月実施 1年生)

### (1) 学力調査の結果

#### ① 国語の全体的傾向 (平均正答率)

	教科全体	基礎	活用	話すこと 聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項
市内平均	70.9	75.2	56.6	64.3	89.5	65.5	69.4
目標値	66.8	70.0	56.4	63.8	77.0	63.3	66.3
比較	+4.1	+5.2	+0.2	+0.5	+12.5	+2.2	+3.1

#### <考察>

国語全体の平均正答率を見ると、「書くこと」の領域において目標値を大幅に上回る解答状況であった。「書くこと」の領域においては、出題のねらいにあった表現能力が身につけているといえるであろう。

漢字の書き取りでは、全国正答率を下回っているものが50%あった。小学校で習った漢字の復習が必要である。

### (2) 設問別分析

①3-(4)「文法・語句に関する知識」 『そよそよと、さわやかな 春の 風が ふいている。』  
修飾語の理解 (被修飾語を指摘する)  
(市内正答率21.1% 目標値25.0%)

#### <考察>

修飾語については、小学校中学年で学習しているが、忘れていた生徒も多い。

『そよそよと』が修飾している言葉が『風が』という誤答が6割以上あった。

中学校の指導では、語順の入れ替えによる検証・確認を勧めたい。また、修飾・被修飾の関係を学習する時に、両者を離さないように表現することを、書く時の指導に生かしたい。

#### ②6-(1)「表現」

話し合いとメモを読み比べる (話し合いの様子とメモを比較して、相違点を見つけて指摘する)  
(市内正答率40.4% 目標値50.0%)

<考察>

この問いに答えるためには、話し合いの様子とメモを比較して、相違点を見つける必要がある。

生徒の回答を見ると、設問だけを読んで答えを導き出し、本文を確認していないふしがある。また、主語や時間などを省いてしまっている。

設問を読んだ後必ず問題文を確認する習慣をつけることが大切である。また、普段から話し合いの時などには5W1Hを意識させたい。

・対象としたテスト 下野市学力検査 (平成25年4月実施 2年生)

(1) 学力調査の結果

① 国語の全体的傾向 (平均正答率)

	教科全体	基礎	活用	話すこと 聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項
市内平均	79.5	81.6	72.0	84.0	84.1	73.3	81.8
目標値	69.7	72.4	60.0	73.8	73.0	64.5	71.7
比較	+9.8	+9.2	+12	+10.2	+11.1	+8.8	+10.1

国語全体の平均正答率をみると、おおむね目標値を上回る良好な成績であった。特に「話すこと・聞くこと」と「書くこと」の領域において、顕著である。「言語事項」においても、1年次の検査と比べて、大きくアップし指導の成果がうかがわれる。

(2) 設問別分析

⑤－(1)「表現」

新聞記事の内容を読み取る

(文章の内容を正確にとらえ、その中から必要な情報を集めることができる。)

(市内正答率50.0% 目標値46.1%)

<考察>

この問題を解くためには、新聞記事から必要な情報を集める必要がある。さらに、集めた情報をもとに、前後の文章に沿うように文を作っていく能力が必要である。

約3割の生徒が、必要な情報を十分に満たしていなかった。また約2割以上の生徒が、あとの文章を読んでいないために、主語の選択を間違っていると思われる。設問で指定された条件をしっかりと満たすように書くことを指導する必要がある。

設問を読んだ後必ず問題文を確認する習慣をつけることが大切である。

⑤－（２）「思考・判断力」

新聞記事の内容を読み取る

（文章の内容を正確にとらえ，文章の書き方の特徴を理解することができる。）

（市内正答率 57.0% 目標値 55.0%）

<考察>

この問題を解くためには，文章の内容を正確にとらえて，書き方の特徴を理解する能力が必要である。新聞は中立の立場から書かれていると認識している生徒が多い。そのため，問題文をしっかりと検証せず，安易に選んでしまった生徒が多いのではないか。

根拠を持って選択肢を選ぶ方法を，消去法などを用いて指導する必要がある。